介護労働安定センター石川支部 喀痰吸引等研修(第一号研修及び第二号研修) カリキュラム(例)

【研修期間】令和7年●月●日~令和7年●月●日

❖ 講 義 (会場:受講者の事業所)

日程	研修時間	講義 時間			講師	
-	9:30 ~ 10:00	0.5	『開講式』および『オリエンテー	ーション』	事務局	
1 日目 [研修室で行う 集団研修]	10:00 ~ 11:40	0.5		1.個人の尊厳と自立		
	(講義1.5時間)	1	人間と社会	2.医療の倫理		
	(休憩10分を含む) 60分		休憩	3.利用者や家族の気持ちの理解	—————————————————————————————————————	
	607	1	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	1. 保健医療に関する制度		
	12:40 ~ 17:00	0.5	保健医療制度とチーム医療	2. 医療的行為に関係する法律		
2 日目 [研修室で行う 集団研修]	(講義4時間)	0.5		3. チーム医療と介護職員との連携		
	(休憩20分を含む)	2	安全な療養生活	1. 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施		
	9:30 ~ 12:10	2	安全な療養生活	2. 救急蘇生法		
	(講義2.5時間)	0.5				
	(休憩10分を含む)	0.5	清潔保持と感染予防	1. 感染予防		
	60分	0.5	休憩	0. 聯旦の耐洗マ叶	— _{A氏}	
	13:10 ~ 16:30	0.5 0.5	清潔保持と感染予防	2. 職員の感染予防	- ~~	
		1	信条体行る際朱丁奶	3. 療養環境の清潔、消毒法4. 滅菌と消毒		
	(講義3時間) (休憩20分を含む)	1	健康状態の把握	1. 身体・精神の健康		
	9:30 ~ 11:40	1.5	建 承 (八 悠 ∨) 仁 (在	2. 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)		
	(講義2時間)		健康状態の把握			
3目目	(休憩10分を含む)	0.5		3. 急変状態について		
[研修室で行う	60分		休憩		A氏	
集団研修]	12:40 ~ 16:30	1.5	高齢者および障害児・者の	1. 呼吸のしくみとはたらき		
	(講義3.5時間)	1	喀痰吸引概論	2. いつもと違う呼吸状態		
	(休憩20分を含む)	1		3. 喀痰吸引とは		
	9:30 ~ 11:40	2	高齢者および障害児・者の	4. 人工呼吸器と吸引		
	(講義2時間) (休憩10分を含む)	2	喀痰吸引概論	4. 人工呼吸器と吸引		
4日目	60分		休憩			
[研修室で行う		1		5. 子どもの吸引について	A氏	
集団研修]	12:40 ~ 16:30	0.5	高齢者および障害児・者の	6. 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、 説明と同意		
	(講義3.5時間)	1	喀痰吸引概論	7. 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)		
	(休憩20分を含む)	1		8. 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認		
	9:30 ~ 11:40 (講義2時間)	2	高齢者および障害児・者の	9. 急変・事故発生時の対応と事前対策		
	(休憩10分を含む)		喀痰吸引概論			
5日目 [研修室で行う	60分		休憩		A氏	
集団研修]	12:40 ~ 16:30	1	高齢者および障害児・者の	3. 喀痰吸引にともなうケア		
	(講義3.5時間)	1	喀痰吸引実施手順解説	4. 報告および記録	_	
	(休憩20分を含む)	1.5	高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	1. 消化器系のしくみとはたらき		
	9:30 ~ 11:40	1	高齢者および障害児・者の	2. 消化・吸収とよくある消化器の症状		
	(講義2時間)	1	高野者およい障害児・者の 経管栄養概論	3. 経管栄養とは		
6日目	(休憩10分を含む) 60分	<u> </u>	休憩	or inchange in		
[研修室で行う 集団研修]	12:40 ~ 16:00	1	17世	4. 注入する内容に関する知識	A氏	
未凹叨形」	(講義3時間)	1	高齢者および障害児・者の	5. 経管栄養実施上の留意点		
	(休憩20分を含む)	1	経管栄養概論	6. 子どもの経管栄養について	-	
	9:30 ~ 12:10	1		7. 経管栄養に関する感染と予防		
	(講義2.5時間)	0.5	高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	8. 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意		
7 11 12	(休憩10分を含む)	1	在日本食慨福	9. 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認		
7 日目 「研修室で行う	60分		休憩		A氏	
集団研修			高齢者および障害児・者の	10. 急変・事故発生時の対応と事前対策	7.20	
集団研修]	13:10 ~ 16:30	1		10. 心久		
集団研修]			経管栄養概論			
集団研修]	(講義3時間)	1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の	3. 経管栄養に必要なケア		
集団研修]	(講義3時間) (休憩20分を含む)	1	経管栄養概論	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録		
集団研修]	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40	1 1 1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持		
集団研修]	(講義3時間) (休憩20分を含む)	1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録		
8 日目 [研修室で行う	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	1 1 1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	B氏	
8日目	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む) 00分 12:40 ~ 17:00	1 1 1 1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2. 吸引の技術と留意点	BE	
8 日目 [研修室で行う	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む) 60分 12:40 ~ 17:00 (講義4時間)	1 1 1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 休憩	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	B氏	
8 日目 [研修室で行う	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む) 60分 12:40 ~ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む)	1 1 1 1 4	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 休憩 高齢者および障害児・者の	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2. 吸引の技術と留意点 2. 吸引の技術と留意点	BE	
8 日目 [研修室で行う	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む) 60分 12:40 ~ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40	1 1 1 1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 休憩 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2. 吸引の技術と留意点	BÆ	
8 日目 [研修室で行う	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む) 60分 12:40 ~ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む)	1 1 1 1 4	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 休憩 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2. 吸引の技術と留意点 2. 吸引の技術と留意点	BK	
8日目 [研修室で行う 集団研修] 9日目 [研修室で行う	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む) 60分 12:40 ~ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間)	1 1 1 1 1 1 1 1 1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 休憩 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2. 吸引の技術と留意点 2. 吸引の技術と留意点 1. 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	BK.	
8日目 [研修室で行う 集団研修] 9日目	(講義3時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む) 12:40 ~ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む) 9:30 ~ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	1 1 1 1 1 1 1 1 1	経管栄養概論 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 休憩 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	3. 経管栄養に必要なケア 4. 報告および記録 1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2. 吸引の技術と留意点 2. 吸引の技術と留意点 1. 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持		

	9:30 ~ 9:45		オリエンテーション	筆記テストに関してオリエンテーション	事務局
10日目	15分				7
[研修室で行う	10:00 ~ 11:00	1	筆記テスト	筆記テスト	B氏
集団研修]	15分				市ツロ
	11:15 ~ 11:30		オリエンテーション	今後の件に関してオリエンテーション	事務局
補講及び追試 験・演習	12:30~16:00 (休憩 60分を含 む)	3.5	救急蘇生法 : 「1回」以上実施 補講及び追試験または演習	※筆記試験合格者は演習「心肺蘇生1回以上」 ※筆記試験不合格者は補講及び追試試験「心肺蘇生1回以上」	B氏

[※] 研修日によって、研修時間が異なりますのでご確認ください。

❖ 演 習 (会場:受講者の事業所)

日程	研修時間	内容		講師
11日目 12日目 [研修室で行う集 団研修]	9:30~17:30 (うち演習時間:7時間) (お昼休憩:60分)	1日目 ・たん吸引(口腔内・鼻腔内、気管カニューレ内部): 各「5回」以上実施 2日目 ・経管栄養(胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養): 各「5回」以上実施 ※ 半固形栄養剤「1回」実施 ※ 模擬演習及び記録時間を含む。	各「5回」以上実施。	B氏

❖ 実地研修 (場所:各自が所属する法人等)

日程	内容	
	自らが所属する法人等で実地研修を実施していただきます。	
基本研修終了後から	《たん吸引》 口腔 : 10回以上 鼻腔、気管カニューレ内部 : 各20回以上	
	《経管栄養》 胃ろう又は腸ろう : 20回以上 経鼻経管栄養 : 20回以上	

- ❖ 修了日(修了日までに、必ず実地研修実施にかかわる報告書等を提出してください。)
- ❖ 修了証明書の発行

修了日から、概ね2週間以内に発送します。